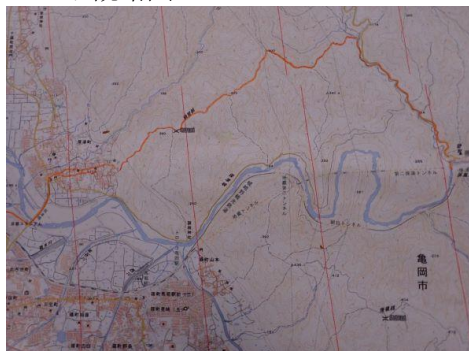


12月23日 明智越え

平尾 繁和

山名	明智越え	山行名	例会
ルート	亀岡駅～登山口～峯の堂～土用の冷泉～高瀬山～水尾分岐～保津峡駅		
山行日	2022年12月23(金)	天候	曇り時々晴れ
参加者	CL平尾、SL木田、1班：徳田、伊藤典、永江、宮内、山下隆、若林、和田 2班：廣瀬、伊藤多、小川、小泉、河野、北條 /15名		

ルート概略図



コースタイム

地名		時：分	地名		時：分
京都駅	発	8：27	鉄塔	着	11：35
	着	9：01		発	12：05
亀岡駅	着	9：01	高瀬山	着	12：34
	発	9：15		発	12：40
登山口（簾戸口）	着	9：50	水尾分岐	着	13：25
	発	10：00		発	13：25
峯の堂	着	10：53	保津峡駅	着	13：55
	発	10：55			
土用の冷泉	着	11：21			
	発	11：23			

車窓から見た牛松山には白いものはなかったが、亀岡駅北口へ出ると道路に雪が薄っすらと残っていた。サッカースタジアム西側のロータリーで挨拶・説明のあと準備体操を済ませ2班に分れスタートする。滑らぬように慎重に歩く。明智越えは、保津川左岸の尾根沿いの山道。亀岡から愛宕山に登るためのルートの一つで、明智光秀が織田信長を討つために本能寺に向かった時この道を通ったとかでそう呼ばれている。保津橋を渡り保津町の集落から本覚寺などの寺院の前を通り山手に向かい東進すると約30分で登山口（簾戸口）についた。衣服調整をして山道に入る。アベマキの落葉で埋まった樹林の細道を行くと保津城址などの案内看板があり古道の雰囲気を感じられる。岩が剥きだしで濡れて滑りやすくなっているところもあったのでゆっくりと進む。保津百景道しるべの「帯解け石」の看板まで来ると西側に亀岡駅周辺の展望が開ける。鐘付堂跡、古墳跡など歴史を感じる登り道を行くと、清和天皇を祀ると伝わる塚「峯の堂」につき休憩。やがて樹林の中の起伏のない歩きやすい水平道がしばらくの間続く。樹林の間から時折展望が開け左には牛松山、右には唐戸越えの山並みが垣間見えた。その先を行くと右手に展望が開けた崩落個所にロープが張ってあり、山腹へ迂回し降りたところに「土用の冷泉」があった。今は往時の水もない。2つ目の鉄塔の下で昼食休憩。記念写真をとり先へ進む。分岐のY字路で右へ登りすぐなだらかな下りとなる。小粒の乾いた雪が落葉やシダの葉の上に残っている。420m付近右手に関電の標識があり下っていく山道があった。予定より時間が早かったのでオプションで考えていた高瀬山を往復するため右手の樹林の中の水平道へ入っていく。ゆるやかな起伏の山腹道の落葉を踏み分け進むこと十分程、急登もなく右手の盛り上がった所に三角点標柱があり340.4m高瀬山の木札が2枚下げてあった。本日唯一のピーク、写真を撮り引返す。下りは抉れた道に岩が露出してゆっくり慎重に下りる。途中クチベニタケを見つける。橋を渡って保津峡から水尾へ向かう舗装路にでて、保津峡駅まで30～40分歩く。途中右手下に小さな橋と道が見えた。ハイキングコースの看板があり、地図の高瀬山から南下する道と合流し川沿いに請田神社、保津の集落へとつながる道かと思われたが、ハイキング通行止めの表示があった。ほぼ計画通り14時前に保津峡駅に到着し、2022年末の例会を無事終了した。(YAMAP×1.2で計画)

YAMAP：「愛宕山」 行動時間4時間40分、距離9.4km、累積標高差456/466m

ヒヤリハット なし



写真提供 木田さん



写真提供 若林さん



高瀬山



写真提供 山下さん



高瀬山 三角点



写真提供 木田さん



明智越え 感想文

宮内 毅

○山歩き前日の朝刊記事に「警報級、大雪恐れ、週末にかけ広範囲で」不要不急の外出は自粛して下さい。少し不安であるが中止なら夕方に連絡があるはず、、、当日は連絡ナシ。山行き当日、天気は快晴、澄み切った空気そして寒い。昨日の「不要不急」は何だったろう？集合場所J R京都駅 32 番ホームに総数 15 人衆が亀岡駅に向けて出発。亀岡に近づくと社内が少しザワつく、車窓からの山々は雪化粧していた。サンガスタジアムの横で準備体操をし身体を温めてから 2 班に分れて出発。道には雪があり全員小股にて歩行して登山口に到着。「明智越え」ハイキングコースの看板を確認し、京田辺山友会 15 人衆は落葉樹の登り坂を進み、落葉の上に雪が積もり歩きにくかったが、いつのまにか雪が解け歩きやすく楽しいハイキングに変わっていた。途中登山教室で登った愛宕山を左に見て尾

根伝いに進み、高瀬山 340mまで足を延ばし全員で記念写真「イエーイ」。スタート時点では少し不安だったけど楽しい1日に変わって本当に良かったです。明智光秀が愛宕山詣で利用した古道を山友会 15 人衆が完歩できたことを感謝します。CL、SL、班長さん計画、実行していただきありがとうございました。すべてに感謝。

小泉 博

○朝からへこむ。登山は完全装備・体調万全で挑むと決めているが、途中の保津峡駅のホームには雪が数cm積もっていた。詰め込み時にアイゼンはいらんだらと思う入れて来ず、ちょっとやばいかもと後悔する。結果として必要なかったが自分の安易な考えに、もし山の状況が変わっていれば危険と背中合わせ。以後想定できることは全て対処できる装備で臨むと改めて心に刻む。さて今回は、2つのテーマを実行しようと考え1つ目は、トレッキングポールを使わないこと。昨年入会してから数名の方々にポールを使うと体幹が鍛えられないと指摘を頂き、脚力だけでチャレンジ。今回は距離が短かったので、あまり参考にならないが姿勢は良くなったと実感できる。日頃のトレーニングで週に数回走っているが今年の4月以降足の状態もよくなりつつあり距離も徐々に伸びてきたので、さらなる脚力をアップしていきたい。今まで怪我再発の不安から平坦なところばかり走っていたが、これからは坂道も取入れ、ポール無しでいけるところまで継続しようと思う。余談ですが今年2月の大阪マラソン走ります。怪我から復活して4年2か月ぶりのフルマラソン。まだ完璧ではないが、とりあえず完走めざして。2つ目は、Yamap を登山中頻繁にルート確認すること。なるほど現在位置がこんな感じで表示されて行くのかと。確かにこれがあれば安心だが、逆にトラブルが起きて使用できなければ・・・ 恐怖！もしかして下山もままならないかも？次回から、地図も携行し現在地・ルートを地図上でも把握できるようにステップアップしたい。最後に、この時期の登山は寒すぎる。当日、風は強く鼻水も出るは、このまま頂上で昼食もとらずに下山したい思い。う～ん、この時期の登山何が楽しいのかわからん。が、下山してからの一献。やっぱりこれか(笑)

若林 憲治

○この時期亀岡に着けば雲海をイメージするも今日は全くガスの発生もなく、風は吹くも快晴下でのウオークで有った。昨夜から今朝がたに降ったと思われる雪を踏みしめ明智越えへ水尾コースから愛宕山登山コースへの途中に明智越の看板あり歴史的にも有名な街道で何時も横目に見ながら大変興味のあるコースで距離もしっかり有り、個人的には今年納の例会には満足できた山行であった。CL,SLに感謝と同時に京都にて本能寺攻めならぬ八条口の飲み屋にて攻略出来仲間にも感謝の山行でした。ご参加の皆さんお疲れ様

山下 隆

○今年最後の山行はどの山にしようかと思っていたら、平尾さん計画の明智超えが眼にとまる。愛宕山から水尾に下りる時に「明智超え」の標識があるのは以前から気が付いていたので、いずれ行ってみたい所の一つだった。名前や水尾側の登山口からの様子からみると相当厳しい峠超えと思っていたが、予想に反してのハイキングコースだった。登り初めと、終わりの下りは山道らしかったが、途中の道々は落ち葉いっぱいハイキングコースで時々姿を見せる澄んだ青空や昨晚降った残雪で覆われた落ち葉道も気持ちよかった。持ってきた軽アイゼンを使うほどでは無かった。全国的に大雪予想が出ている中で大阪・京都市周辺のみが雪予報が無く助かる。今回のメンバーの中には強運の晴女・晴男がいたらしい。新型コロナ感染が始まって以来、下山後の反省会はひかえていたが、京都駅近くでコロナ始まって3年振りの反省会も久しぶりだった。「今年超え」となった山行は持病のツリもなく無事に乗り越えられた。来年は7回目の年男！！元気で山歩きをまだまだ楽しみたいと思います。さあ年末の作業開始だ!!